

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公開番号】特開 2007-195709 (P2007-195709A)

【公開日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2007-030

【出願番号】特願 2006-17311 (P2006-17311)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 17 日 (2008.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機前方に回動可能に設けられた扉体と、

遊技が実行される遊技機構と、

遊技媒体を払い出す払出機構とを備え、

前記遊技機構における遊技結果が所定の遊技結果となった場合に前記払出機構による遊技媒体の払い出しを実行する遊技機において、

前記遊技機構を含む遊技機構ユニット及び前記払出機構を含む払出機構ユニットの各ユニットをそれぞれ個別に設けるとともに、

前記扉体の背面側にて前記遊技機構ユニットを支持する第 1 支持手段、及び前記扉体の背面側にて前記払出機構ユニットを支持する第 2 支持手段を設け、

前記第 1 支持手段及び前記第 2 支持手段はそれぞれ対応するユニットの回動軸となる軸部と軸部を受ける軸受け部とを備え、これら軸部又は軸受け部のいずれか一方の軸線方向への移動により両者が着脱可能となるよう構成し、

さらに、前記第 1 支持手段及び前記第 2 支持手段を、前記各ユニットの回動軸が同一軸線上に延びるように配置し、

前記扉体には、前記第 1 支持手段又は前記第 2 支持手段の少なくとも一方に関して、前記軸線方向の移動をガイドするガイド手段を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記ガイド手段を、前記第 1 支持手段及び前記第 2 支持手段の両方に対して設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記各支持手段の前記軸部又は前記軸受け部は、一方が前記扉体に設けられた扉側形成部に形成されるとともに、他方が前記ユニットに設けられたユニット側形成部に形成され

る。前記ガイド手段は、前記軸線方向に延び前記ユニット側形成部の側面が摺動されるガイド部であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記ユニット側形成部の側面を曲面状に形成したことを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記ガイド手段を、前記軸線方向に対して直交する方向のうち少なくとも 2 方向の前記軸部又は前記軸受け部の移動を規制するように形成したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記軸線方向が上下方向となるように前記第 1 支持手段及び前記第 2 支持手段を配置し

、さらに前記各支持手段の前記軸部又は前記軸受け部を、一方を前記扉体に設けられた扉側形成部に形成するとともに、他方を前記ユニットに設けられたユニット側形成部に形成し、

前記ガイド手段は、前記ユニット側形成部の側面が当接されることで、そのユニット側形成部の前後方向位置を規定する前後ガイド部と、同ユニット側形成部の左右方向位置を規定する左右ガイド部とを備え、

前記前後ガイド部及び前記左右ガイド部は、前記軸線方向に延び、対応するユニットが支持される場合にそのユニット側形成部の側面が摺動されることを特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記扉側形成部を、前記扉体の背面に取り付けられる硬質金属製の軸金具に形成するとともに、前記前後ガイド部を、前記軸金具の上方に位置するように前記扉体の背面に形成し、

前記前後ガイド部を、その上方先端と前記扉体の背面との間に段差が生じないように、少なくとも上下方向の途中位置から上方先端に向けて前記扉体の背面へ傾斜させて形成したことを特徴とする請求項 6 に記載の遊技機。